

## ニューヨークから姉妹校のクラークスタウン北・南高校 来校 <前編>

ニューヨークのクラークスタウン北・南高校から20名の生徒の皆さんと3名の教員の方々が来校されました。

2018年6月23日(土)～26日(火)4泊、本校の生徒宅へホームステイをしました。ご協力下さったご家庭の皆様、誠にありがとうございました。

6月25日(月)は夕陽丘高校で交流をしました。

朝はホストシスター・ブラザーと登校し、1限は歓迎セレモニーをヴィオーラホールで行いました。司会は国際交流委員の生徒3名が務めました。校長先生からのご挨拶の後、ダンス部がダンスを披露しました。ダンス部はこの夏全国大会への出場します。



クラークスタウン高校の生徒2名が英語と日本語で学校紹介のプレゼンをしてくださいました。そして、クラークスタウン高校の生徒3名がそれぞれ日本語でスピーチをしてくださいました。タイトルは、「心配性との付き合い方」「アメリカ人って何?」「アイデンティティを探して」です。そのうち最後に発表した生徒は、先日アメリカの全国スピーチコンテストに出場し入賞したそうです。皆さん堂々と発表する姿が印象的でした。



クラークスタウン高校の皆さんが「Seasons of Love」を合唱してくれました。ソロもあり、とても素敵な歌声でした。最後に全員で記念写真を撮りました。



2限は、クラークスタウン高校の生徒一人に、夕陽丘の生徒が一人ずつ付いて校舎案内をしました。校舎案内をしながらコミュニケーションをとり、すぐに打ち解け合っていました。アメリカの教員の先生方も、通訳に来てくれていた卒業生2人の案内で、それぞれご担当の美術と英語の授業を見学されました。

3限は、2年生の家庭科の授業に参加し、班に分かれてバッグのデコレーションをしました。本校へ留学中のアメリカの生徒も入って交流しました。



4限は、留学生の日本語教室を担当して下さっているOBの武市先生と元PTAの船越様・下古谷様のご指導のもと、千羽鶴を作りました。国際交流委員と昨年ペンパルプロジェクトに参加していた生徒とクラークスタウン高校の生徒たちが一緒に作りました。ペンパルプロジェクトとは文通のことで、昨年何度か手紙をやりとりしていた相手に初めて実際に会う機会となりました。最初に国際交流委員2名が千羽鶴について英語でプレゼンをしました。その後班ごとに鶴を折り、糸に通していきました。



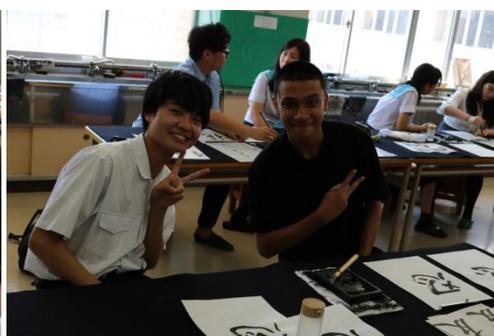
書道の先生に事前に書いて頂いていたクラークスタウン高校と夕陽丘高校の名前を書いたリボンで束ね完成です。記念写真を撮りました。後日クラークスタウン高校の生徒の皆さんが広島を訪れた際、みんなで作った千羽鶴を平和記念公園に捧げて下さいました。



昼食は、ホストシスターやブラザーやその友達たちと一緒に食べました。



5限は、2年生の書道のクラスに参加しました。夕陽丘の生徒が一人ずつ付いてサポートし、クラークスタウン高校の生徒たちは漢字を書いてそれを貼ってオリジナルのうちわを作りました。



後編へ続きます。